



呼子っ子

唐津市立呼子小学校

学校便り No.8

令和2年 8月24日

文責： 宮本 克一

短い夏休み・・・今日から2学期

今年は新型コロナウイルスの影響で夏休みが3週間となり、子どもたちにとっては少し物足りない夏休みだったかもしれませんね。夏休みに入ってから佐賀県内にも感染者が増加し心配な状況が続いています。2学期も感染防止に全力で対処し、学校生活を進めていきたいと思えます。

さて、お子様の夏休みはいかがだったでしょうか？今年の夏休みは短かったとはいうものの、保護者の中には「やれやれ・・・」とほっとされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？（笑）私たち呼子小の職員一も、夏休み前の終業式の時に子どもたちと約束した「水の事故・車の事故・人の事故にあわない・コロナ予防」の約束が守れて、事故の報告がなかったということで、ひとまずほっとしているところです。

2学期は新型コロナウイルス感染の状況が心配なところがありますが、運動会、バス旅行・修学旅行、祖父母参観・マラソン大会など大きな学校行事が予定されています。様々な経験を通して、子どもたちの成長する姿が一番たくさん見られる学期でもあります。子どもたち一人ひとりにしっかり寄り添いながら、全職員一丸となって「キラリと光る 呼子っ子」の育成に全力で頑張っていこうと気持ちを新たにしているところです。保護者の皆様・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



【2学期始業式の校長の話より】

2学期の始業式では「心のスイッチ」（東井義雄）という詩を使って話をしました。「心のスイッチ」を入れるのは誰か、他の人が助けてくれることもあるかもしれませんが、何かのきっかけで入ることもあるかもしれません。でも、スイッチを入れるのはやっぱり自分自身です。どうやったらスイッチを入れることができるのか。これが問題ですよ。考えてみました。スイッチの入れ方は、まず①自分なりのはっきりとした目標を持つこと、②そのためまず小さな1歩を踏み出すことではないかと思えます。みんな心のスイッチを持っています。スイッチさえ入れれば、きっとその人なりの頑張りができるはずです。今日から、今から心のスイッチを入れてみましょう。

心のスイッチ

東井義雄

人間の目はふしぎな目

見ようという心がなかったら

見ても見えない

人間の耳はふしぎな耳

聞こうという心がなかったら

聞いていても聞こえない

頭もそうだ

はじめからよい頭わるい頭の

区別があるのではないようだ

「よし、やるぞ！」と心のスイッチが入ると

頭もすばらしいはたらきをしはじめ

心のスイッチが人間をつまらなくもし

すばらしくもしてい

電灯のスイッチが家の中を明るくし、

暗くもするように



除草作業ありがとうございました！

8月23日（日）は早朝よりたくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、運動場や校舎周りの除草作業をしていただきまして本当にありがとうございました。薄曇りの空模様で例年からすると少し涼しい天気でしたが、やっぱり汗びしょりになりましたね。軽トラックや草刈り機を持ち込んでいただいた保護者もいらっしゃり、作業の効率も一段と良くなりました。おかげさまで、たいへん心地よい環境で2学期の学習ができます。心より感謝申し上げます。



エアコン設置の工事が進んでいます！

夏休みを利用して、エアコン設置の工事が進んでいます。各教室の天井の天板を外して、大きなエアコンが各教室に2台設置されました。また室外機も設置され、素人目にはもうエアコン使える！と思ってしまうところですが、電気がつながっていないといった状況です。現在の学校全体の電源設備ではエアコンの電気量に耐え切れないので新たに校舎裏側の駐車場に電源の設備を作らないといけないということです。エアコン工事の完了は11月中旬の予定です。



教室後方の天井に2台のエアコンが設置されています。

駐車場に建設される電源施設

【お知らせ】 唐津ピープル放送で登校中や始業式の子どもたちの様子が放送されます。

○放送日 8月24日（月） 18：45 ・ 19：45 ・ 20：45 ・ 21：45 ・ 22：45
23：45 ・ 24：45 ・ 25：45